



大学院教育における COIL型講義の事例 ～カリフォルニア大学 デービス校～

静岡県立大学大学院
薬食生命総合学府

黒川 洵子

カリフォルニア大学デービス校 (University of California Davis)について

通称：**UC DAVIS** (日本国内22大学と大学間協定)

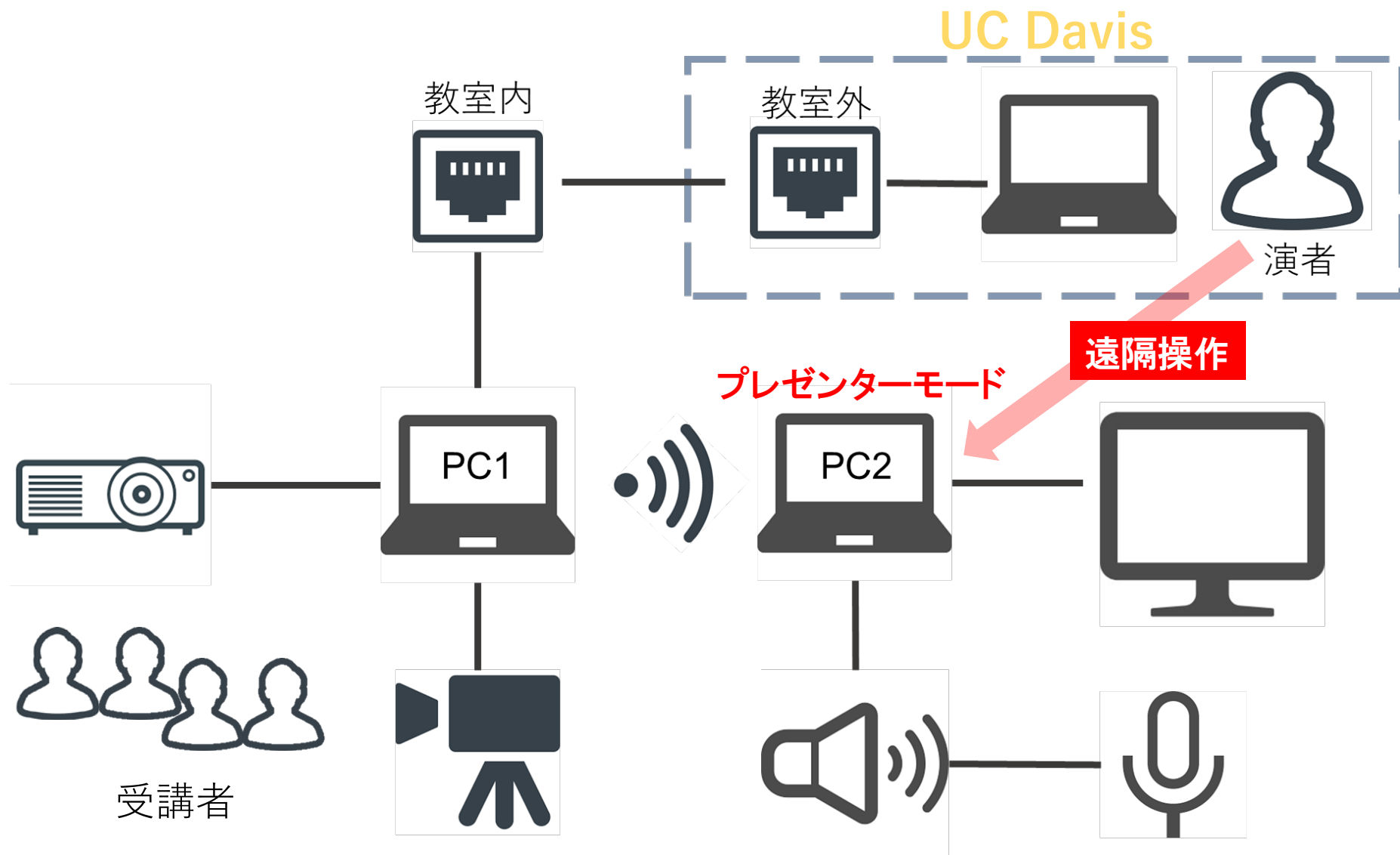
獣医学で世界一位、農学および理系女子輩出で米国一位を誇る大学

2011年～ 大学間交流開始、2015年 協定締結 (UC Davisー静岡県立大学)

2018年 薬学部女性教員3名が訪問



Microsoft Teamsによるオンライン講義でのAV接続法



大学院講義特論での実施

☆学府シラバスで、COIL型教育を導入する可能性について予め言及

日時：2019年 6月 12日（水） 10:40-12:10 (JST), 18:40-20:10 (PDT)

教室@静岡県立大学： 1 3 3 0 2

履修学生人数： 12 名

日本側参加者： 16 名 （静岡県立大学）

相手側参加者： 1 名 （カリフォルニア大学デービス校）

本特論の到達目標

1. 医薬品有害事象回避手法の現状と展望を実例で理解する。
2. 同じ問題に対して、様々なアプローチ法が存在することを理解する。
3. 最新の研究手法を理解する。

COIL型講義タイトル

「Issues in safety assessment of QT-prolonging drugs」

「薬物安全性における致死性不整脈の問題」

講師の紹介

Kazuharu Furutani, Ph.D.



Assistant Professor

専門：
電気生理学、薬理学、
不整脈学

共同研究の可能性

当日の流れ

令和元年6月12日

10:30

教室のセットアップ（全員）

10:40

10:45

接続の確認（古谷先生、国際交流室、坂本准教授）
COIL型講義の主旨説明、講義概要の説明（黒川）



当日の流れ

令和元年6月12日

10:30

教室のセットアップ（全員）

10:40

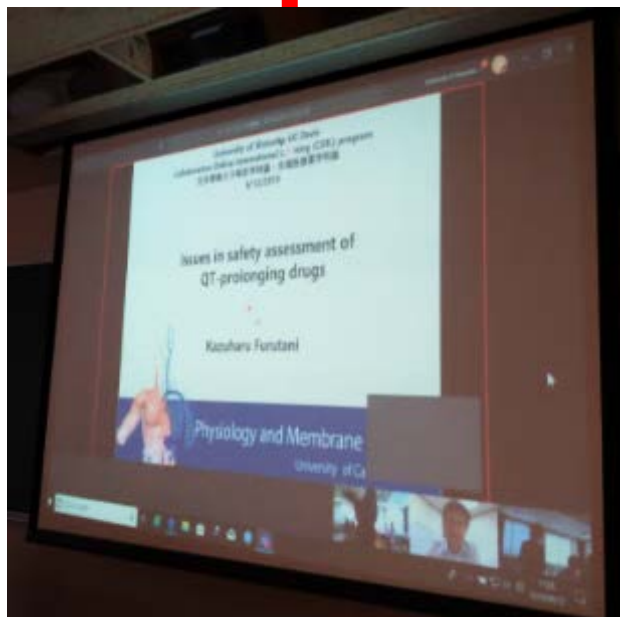
10:45

接続の確認（古谷先生、国際交流室、坂本准教授）
COIL型講義の主旨説明、講義概要の説明（黒川）

11:00

古谷和春講師による英語講義

「Issues in safety assessment of QT-prolonging drugs」



当日の流れ

令和元年6月12日

10:30

10:40

10:45

11:00

11:20

12:00

12:10

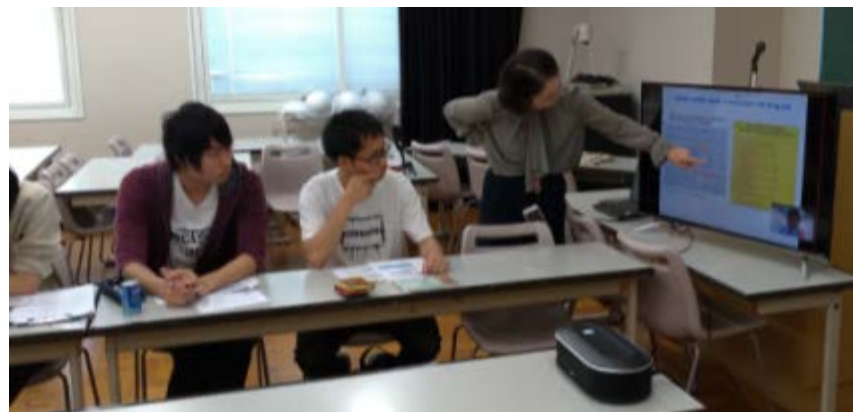


真剣そのもの！

古谷和春講師と大学院生との対話式授業（黒川）
「英語講義のふり返し」（日本語）

学生からの質問コーナー

つづき：
学生からの質問コーナー



まとめ（感想）

古谷先生：日本にいる学生の表情を確認しながら講義を進められる点良かった。学生の真剣が伝わってきた。お役に立てれば嬉しい。

学生達：卒業後は留学を希望しているので、海外で働く日本人の先生の話は勇気づけられる。

英語講義は専門用語が多く、難しいと感じたが、後の日本語解説で理解が深まった。

ビデオでも違和感なく受講出来た。

英語もサイエンスも、**もっと勉強しよう**と思った。